

令和6年度自己評価結果（公表）

社会福祉法人白山優心会
幼保連携型認定こども園
白山こども園

自分が自分の真を問います。匿名ですので
各自しっかりと向き合って記入ください。

1 園の教育・保育目標

昭和 31 年から積み重ねてきた保育実績を礎に「明るく心身共に健康な子どもを育てる」ことを念頭に、以下に示す理念を叶えるため日々の教育・保育を実践する。

教育・保育理念

- ・命の大切さを知り、人のみならず草木や花、虫や小動物にも想いを寄せる優しい心。
- ・失敗から学ぶ力や、人と協力できる協調性。自分で考える力や、違う価値観を柔軟に受け止める心。
- ・食べるということは生きる喜び。生きてゆくために命を呈してもらった食べ物に対する感謝の心と関わったたくさんの人たちへの感謝の心。

子どもたちが目指す「みんなの目標」

- 1、 遊びを楽しむ子ども
- 2、 あいさつが素直に言える子ども
- 3、 感謝して食べる子ども
- 4、 優しい心をもつ子ども

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- 1、 子ども主体の教育・保育の提供。
- 2、 保育環境の配慮。
- 3、 子どもの主体性を重視した遊びの展開。
- 4、 職員の資質向上。

3 項目ごとの評価・検証

	職員点検	対象 19名
○	組織点検	園長・副園長

評価の該当欄に○記入

A：到達目標を十分達成している。適正。よくできている。そう思う。（優）
B：到達目標を一応達成している。ほぼできた。一部検討。やや思う。（良）
C：不十分なところもあるが、到達目標の最低レベルを達成している。（可）
D：到達目標を達成していない。対象外。検討・課題・反省点多数。×。（不可）

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
1 教育・保育の計画	A	B	C	D	・園の教育、保育目標が常に頭にあり、何をするにもそれに準じた行動や言動を心がけていきたい。 ・基本方針に基づいた具体的な計画が実行されていない。 ・事務時間が取れない事で、クラス内で指導計画案が月末まで終わらない月があった。就業時間内に事務仕事が終わるように、事務時間をもっと設けてほしい。
園の基本理念・方針・目標を理解している。	12	5	1	1	
幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、理念・目標を踏まえた全体的な計画に沿って長期・短期の指導計画を作成している。	8	7	2	2	
乳幼児の発達や実態に即したねらいや内容を設定している。（3歳未満児は個別計画作成等含む）	3	12	4	0	
PDCA（計画・実践・評価・改善）サイクルを用いて、質の向上・改善に努めている。	1	12	6	0	

					・食物や植物を育てる活動や戸外遊びを通しての自然物との関わりなど、教育、保育理論を踏まえた、年齢に応じた活動を十分に行うことが出来たと感じている。 ・複数担任の際は、評価、改善を情報共有時に話し合うことは出来ているが、全ての計画に対しては行えていなかった。少しでもその日の活動に関して担任全員で触れるようにする。 ・計画を立てた後に、実行、改善の部分をしっかりと行う。 ・複数で担任する事によって、評価・改善のところでしっかりと話をし、次につなげる事が出来たと思う。 ・基本方針に基づいた具体的な計画が実行されておらず、日々の活動内容が定着化、類似されてきている。 ・なかなか保育目標を意識しての計画は出来ていなかった。 ・子どもを日頃から見て踏まえた自分の考えはもちろん、担任間で話を重ねて子どもに合った目標、計画、実践、反省を行うことが出来たが、事務の仕事が追い付かずに遅れてしまいがちになっていた。特に行事前、午睡中の複数人の寝かしつけ、連絡ノートで時間を取られる日が続くと、毎日午睡中のみにしかない事務時間の確保は難しい。余裕のあるうちに効率を考えながら分担して作成していく必要が大いにある。
--	--	--	--	--	--

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
2 教育・保育の内容	A	B	C	D	・呼び捨てにはしないが、あだ名や愛称で呼んでしまう事があった。気づいて直すよう心掛けるが、不意にでしてしまう、の繰り返しだった(3) ・子どもたちの様子の中で、友だちへの攻撃(叩く・噛みつき・ひっかき)がひどいときには「それはダメだよ」と言ってしまう事があった。 ・子どもが選択できる遊びが少ない。(3) ・非認知能力を高められるような環境が整っていない(2) ・心掛けているものの、自分自身に余裕や焦りが出てしまうと、言葉を誤って使ってしまう事があったため気を付けていきたい。 ・主体性を育てる、非認知能力を育て高める保育環境に関して、保育室内、クラスごと活動時間は選択できる環境を作り取り組むことは出来るが、朝夕の時間は非常に難しい。クラスの活動時間よ
子どもにわかりやすい温かな言葉遣いで、穏やかに話すよう心掛けている。	12	5	2	0	
子どもの名前は、呼び捨てにせず「くん」「ちゃん」で呼んでいる。	13	5	0	1	
「はやく」「ダメ」等、制止や禁止の言葉を不用意に使わないよう努めている。	2	7	8	2	
「きらい」等、全否定する言葉を使わず、代わりに「にがて」等、受け入れる余地がある肯定的な言葉遣いを心掛けている。	9	8	2	0	
子どもの目線に立ち、気持ちや想いを大切にしながら対応している。	8	10	0	1	
一人ひとりの発達の連続性や生活の連続性に考慮して生活リズムを整え、見通しをもった教育・保育に努めている。	12	5	2	0	
身近な自然や地域、社会と関われるような取り組みをしている。	6	7	5	1	
子ども自ら遊びを選択し、主体性をもって自分らしさを確立していけるような環境設定や、声がけを行っている。	1	9	6	3	
非認知能力を高める教育・保育を展開している。	0	8	6	5	
遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。(社会的ルール・遊びのルール・お当番・異年齢交流など。)	12	5	2	0	

子ども一人一人の人格に配慮した関わりを心がけている。	14	2	2	0	りも、預かり保育の時間が長い事を考えると、朝夕の環境を変化させていく必要がある。 ・制作活動や、日々の保育での話し方は子どもにわかりやすく伝わるように心がけながら保育を行ってきた。 ・子どもとじっくり関わってきたが、時間や書類に追われることで、焦り、子どもたちにしてあげる事が出来なかった。 ・子どもへの関わりでは年齢に応じた声掛けや関わりを行う事が出来た。お集りなど全体的な関わりでは興味関心を持てるような働きかけを行うことが出来た。 ・主体性や非認知能力を育む保育の進め方を考慮し、おもちゃの補充やコーナー遊びの常設に向けた取り組みを進めていきたい(2) ・今の環境のままだと非認知能力を高める教育、保育は難しい。意識的に声掛けやお部屋の中での選択制、気持ちを聞いて考えて行動することを頑張ってきたが、日々の保育に追われてしまった。 ・子どもの主体性や、非認知能力を意識した保育が足りないと感じているもののどうすべきなのかよくわからない所が大きいので、外部の人にアドバイスをもらいなどして改善していく必要があるのではないか(2) ・二人担任ということで、仕事の負担も軽減され、心の余裕も出て子ども一人ひとりとしっかり向き合うことが出来て、個々に合わせた配慮や援助を行うことが出来た。 ・とっさの注意の時に「早く」「だめ」などの言葉が出てしまう事があったので、いつでも冷静に物事を見られるような状態であることが大事だと思う(4) ・家庭環境について、各家庭について保護者の方とのコミュニケーションもより大切にし、その点も踏まえたうえで保育していけるようにしたい。
子どもの育ちや家庭環境に配慮した関わりを心がけている。	13	5	1	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
3 保健管理	A	B	C	D	・朝や夕方など、短時間だけの保育であっても、一人ひとりの様子や変調などにいち早く気付ける目を常に持って関わる事が出来た。今後も続けていきたい。 ・最近、そうさん(殺菌庫)を使っているクラスを見かけない。玩具を口の中に入れる事の多い未満児は、玩
保護者との引継ぎ時や日常での健康観察、毎月の身体測定、園医による健康診断を実施している。	14	4	1	0	
「健康・安全・発達の確保」を図るため園保健計画を策定し、計画に基づいて生活安全指導・健康指導を行っている。	2	15	0	1	
乳幼児の病気やケガ、疾病予防等の情報を「保健だより」等で情報提供している。	12	4	1	0	
感染予防対策として、設備・備品等保育環境の殺	11	8	0	0	

菌消毒を徹底して行っている。					臭の消毒をもっと徹底した方が良いと思う。
					・クラス内でのテーブルや椅子などの消毒をもう少し出来れば良かった。 ・感染症が対策をしても流行することが多いクラスだった。

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
4 安全管理	A	B	C	D	
園安全計画を策定し、毎月避難訓練（火災・地震・防犯・風水害）、交通安全指導を実施している。	10	8	1	0	・おもちゃや環境、物品など、怪我に繋がらないように目を光らせる事を今後も続けていきたい。 ・怪我の報告が行き届いていない事があった。 ・避難訓練時、子どもたちが放送を静かに聞こうとする姿があったり、意識の高まりを感じる事が出来た。 ・無線機を持っている職員と持っていない職員がおり、その場にいる職員の誰も無線機を持っていない時の、情報共有の難しさを感じた。
保育環境設備安全点検表で屋内外の設備や遊具・おもちゃ・備品の安全点検を実施している。	9	10	0	0	
園内事故記録書で事故やケガ等の記録をし、園内研修等を通して結果や改善点を職員が共有している。	9	8	2	0	
「さくら連絡網」を活用し緊急事態発生時の保護者連絡を確立している。	9	9	0	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
5 食育	A	B	C	D	
園の食育理念をよく理解し、子どもたちに伝えるよう取り組んでいる。	4	14	0	1	・給食の方と話し合う機会が少ないため、なかなか意見を交換する事が出来なかった。しかし、子どもの体調によって変更をしてほしい場合には、その都度対応してもらえたのは良かった。 ・毎日食材に触れる事が出来たのは、子どもたちも食に関心を示すようになり、食への意欲も出てきて良かった(3) ・身近な食物の栽培に挑戦しているが、生育時期の猛暑が重なり、生育状況を観察する事が難しかった。 ・子どもたちに食材のクイズを出したり、野菜に関する手遊びをした事は良かったが、その日のメニューをみんなで言ったりという事をあまりしなかったので、献立表の活用をしていく。 ・家庭でのアレルギー食についての様子を引き続き保護者と共有し情報交換していきたい。 ・給食室内での連携がうまくいっていないのか、クラスで話した事が給食室の職員全員に伝わっていない事が多くあったので、誰と話しても話が分かるように給食室内での連携をきちんとしてほしい。 ・ランチルームの広さに対して、人数が多いことで、食事時のテーブルの間隔の狭さや声のボリュームが気になる事がある。
子どもたちが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫している。	8	9	2	0	
子どもたちが食材やメニューに関心をもてるよう働きかけている。	9	9	0	0	
医師から指示があった場合、アレルギー状況に応じて適切な対応を個別に行っている。	17	0	2	0	
給食会議の中で給食担当者等と意見を交換し合い、連携して食育活動に取り組んでいる。	4	8	7	0	
食事のマナーを、年齢や発達に応じて教えている。	12	7	0	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
6 組織運営	A	B	C	D	・時間がなく、係活動にあまり力を入れる事が出来なかった。指示待ちになってしまった所があった。 ・ミーティングの確認が遅くなる事があるため、代表がクラスの伝達として伝えてもらい、その後再度確認をするなどの職員間の連携が必要であると感じた。 ・園を運営するにあたって必要な事や自分の役割、仕事内容を理解し専念することが出来た。時々、ひとつの事に対して集中するあまり、必要以上にこだわってしまう事があったので、時間や期間の配分をうまく調整しながら進めていきたい。 ・小さい事でも、報・連・相を大切にしていきたい。 ・職員間での重要事項の引継ぎは出来ていると思うが、以上児、未満児で階が分かれている分、もっと細かい情報共有が出来れば良かった。
各係の担当、職務の分担を明確化し、管理責任体制の整備をはかり、職員間における報告・連絡・相談・確認の連絡、連携体制が整っている。	3	14	2	0	
協力体制の重要性を認識し、上司の指示・指導、同僚の助言に耳を傾け、素直に聞き入れ決定事項・規則・手続等を守ることができる。	9	9	1	0	
各種文書や個人情報（パソコン・USB 含む）を適切に管理し、守秘義務の厳守・情報の取り扱い方針を周知徹底している。	16	3	0	0	
時間を厳守し、健康管理にも気を配り、職務に積極的に取り組むことができる。	14	3	1	0	
休日や就業外の個人の自由下においても、その言動(SNS 等含む)には白山こども園の職員として、また社会人としてモラル・マナーをわきまえ理解し、行動している。	15	4	0	0	
毎朝ミーティングを行い、全園児の保護者との引継ぎ状況、出欠・遅刻・早退・疾病・健康状態等の情報をとりまとめ全職員周知している。	13	5	1	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
7 研修（資質向上への取り組み）	A	B	C	D	・研修に参加する事で、様々な園でのやり方を知りとても参考になった。 ・園内研修で還元した事をもっと保育に取り入れていき、研修に行ったことに意味がある保育を展開していきたい。また、その意識を全職員が持って保育に取り組めると尚良いと思う。 ・自分が受けた研修内容を保育に反映させることが出来た。
園内研修・外部研修に積極的に参加し資質向上に努めている。	11	7	1	0	
外部研修の内容を、園内研修内で職員還元している。	11	6	2	0	
職員一人につき、年間を通してなるべく均等に研修機会を与えられている。	12	5	1	0	
園内研修は毎月（年間 12 回）実施している。	11	5	1	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
8 情報提供	A	B	C	D	・クラスの様子を、ホームページでもっと詳しく知らせていきたいが、時間に追われ難しかった。 ・地域の人にホームページを見てもらっているのかは不明に感じる。 ・ホームページについて、保護者からは意見を聞いた。 ・「かけっこ」等のおたよりが、文字メインだからなのか、目を通さない保護者が多いように感じる。活字離れが進む今、保護者のニーズに合わせ、イラストや画像添付を多くし、カラーにするなど、目で見てわかるような配慮が必要だと思う。
園に関する様々な情報を、園だより・クラスだより・行事等を通して伝えている。	13	4	1	0	
ホームページを活用して、広く周知するための工夫をしている。	9	6	1	1	
園の外掲示板やホームページ等で、地域の人にも情報を発信している。	9	4	3	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
9 子育て支援（地域・社会との連携）	A	B	C	D	・園庭開放している事をもっと何らかの方法で周知すべき。今のままでは、未就園児や地域の子どもたちの遊ぶ場とはなっていない。決まり事をきちんと表示して安全に使用できる環境設定をしていくべき。 ・今年度、以上児みんなで、施設訪問のプレゼント作りに関われた事は年長児だけでなく、他の年齢もお年寄りに関心を持てて良かった。
様々な行事や日々の引継ぎ、懇談等を通して保護者とのコミュニケーション・相互理解に努めている。	10	7	0	0	
老人・小中高生との交流やボランティアの意義・方針を理解している。	5	8	3	1	
認定こども園として子育て支援が必須であることを理解している。	9	6	2	0	
園庭等を開放し、未就園児や地域の子どもたちに、憩いの場・交流の場を提供している。	10	4	2	1	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
10 環境整備	A	B	C	D	・日々の生活の終了時などにも、点検や整備、管理など、わずかの時間でも取り組めるよう努めたい。 ・教材、用具の点検、整備は出来たものの、忙しい日が続くと片付けが疎かになってしまう事があったので、気付いた時にすぐ行動するように努める。 ・保育がマンネリ化しないように、新年度初めだけでなく、絵本や、必要な教材は年度途中であっても購入を検討してほしい。 ・各係分担を行い、環境整備が出来た。 ・びりびりに破れたままの絵本が多く目立つ。補修するか、補修困難な時は破棄して新しいものを用意した方がよい。 ・保育室内は、食後やおやつ後の掃除は出来るが、それ以外の部分での掃除までは正直手が回らない。 ・絵具や色鉛筆、カラーペン等の保育備品がもっとそろっていれば子どもたちも楽しく活動出来ると思う。 ・髪色に関しては、仕事中心に生活をしているわけではないので、正直納得していない。プライベートを充実させ、仕事への意欲を高めるためにも、もっと髪色を楽しめるようにしてほしい。 ・保育士は、見た目目で判断されるので、黒髪が大事だと言われているが、黒髪だと冷たい印象を与えるイメージがある。少し柔らかい印象にするには、個人の自由ではあるが、茶髪の方が良く、園全体の雰囲気も柔らかくなるのではないかなと思う。
健康・安全かつ快適に生活できるよう、清潔感のある環境維持に努めている。	12	4	1	1	
絵本・教材・用具・用品を適切に活用し、点検整備・管理に努めている。	6	7	4	1	
教育・保育に従事する者は、人的環境であることを理解し、爪を短く切る。髪型・髪色や表情がわかるよう配慮された髪結いなど、清潔感のある身だしなみを心がけている。	11	6	1	0	
人的環境であることを理解し、子どもや保護者、同僚に対しその言動に十分責任をもって対処している。	11	6	1	0	